

IGサポート_クラウドシステムを使ってみる！

V.2020.12.9.6P

1. クラウド名簿をご覧になりたい方は！

クラウド名簿(Pタイプのデモデータを収容しています。)をご覧になりたい方は、アイジーシステムまでお申し込みいただくと、秘書ユーザと動員ユーザ用のアクセスコードをメールで送ります。

http://igy-support.com/Cloud_demo_mousikomi.html

2. クラウド名簿の見方(画面構成)

パソコン・タブレットPC用とスマホ用の2種類の画面があります。ユーザ種別により使用できる項目が制限されます。

- | | |
|---------------|--|
| 3.1) ログイン画面 | ログイン(IDとパスワード) ※ユーザ種別(管理者・秘書ユーザ・動員ユーザ) |
| 3.2) 検索画面 | 検索項目(秘書ユーザ用/動員ユーザ用) |
| 3.3) 一覧画面 | 表示項目(PC・タブレットは秘書用・動員用/スマホは共通)
※API地図落とし&API地図表示(GoogleMapsAPIを設定している場合に使用可) |
| 3.4) 詳細画面 | 応対結果登録画面を開く |
| 3.5) 応対結果登録画面 | 既存登録者の応対結果登録/未登録者の新規作成 |
| ※その他画面 | 応対結果一覧/ユーザー一覧(管理者用)/自動登録マスターデータ |

3. 画面構成

1) ログイン画面



<参考> スマホやタブレットPCのホーム画面に、クラウドシステム画面を追加

- ① パソコン&タブレットPC:「お気に入りの管理」からお気に入りの登録します。



- ② スマホ:「ホーム画面に追加」ボタンから追加します。



2) 検索画面

[PC・タブレット画面]



[スマホ画面]



3) 一覧画面

API地図(地図落とし&地図表示)を使用できるのは、GoogleMapsAPIを設定している場合です。

[PC・タブレット画面]



[スマホ画面]

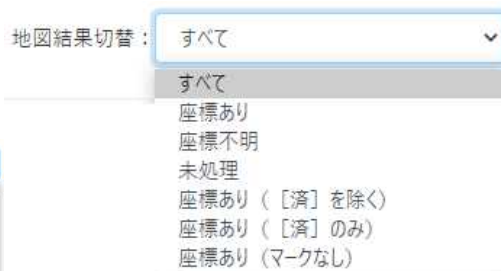


<参考>

■チェック切り替え



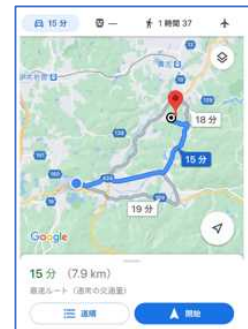
■地図結果切替



■ソート



■通常のGoogleマップ表示



<住所から経路表示>

4) 詳細画面

[PC・タブレット画面]

[スマホ画面]

「一覧画面」に戻ります。

「対応結果登録画面」に飛びます。

「検索画面」に戻ります。

家族情報欄に飛びます。

メモ欄・対応記録欄に飛びます。

通常 구글 맵을 開きます。

データ行部分を非表示にする。

「非表示」

5) 対応結果登録画面

1. 対応結果の登録(CSVデータ保存)

対応日: 自動入力 対応種別&対応日&対応時のメモ: 20個までマスターデータの自動登録

[詳細登録]

詳細画面の「対応結果登録」ボタンから入ります。

[PC・タブレット画面(対応結果登録画面)]

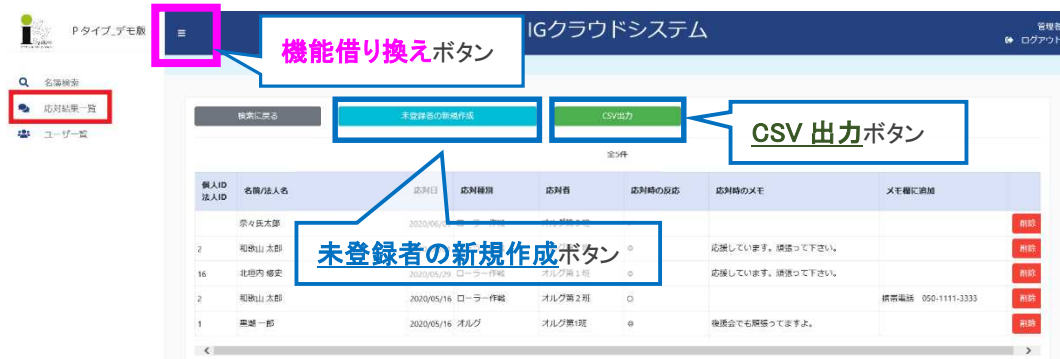
未登録者の新規作成ボタン

対応結果登録ボタン

[スマホ画面(対応結果登録画面)]

2. 対応結果一覧のページ

秘書ユーザで入り、機能切り替えボタンの「対応結果一覧」ボタンから入ります。CSV出力は管理者のみです。



4. ユーザ専用のGoogleマップ(API地図)の表示例



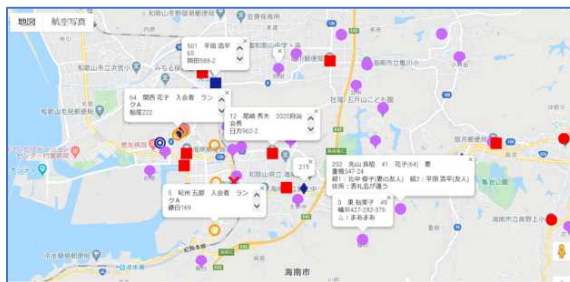
マークのみ

[パソコン画面]

[スマホ画面]



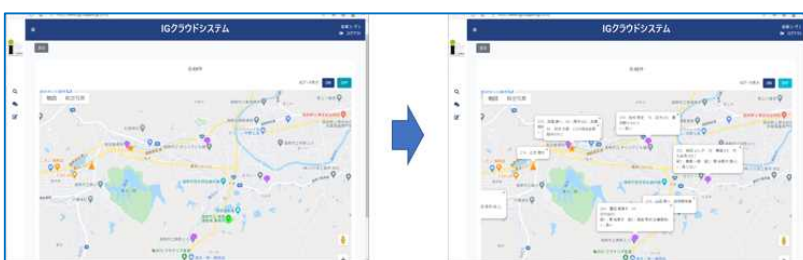
IG登録データ表示
 マークを**1回クリック(タップ)**します。
2回クリック(タップ)すると、**機能選択画面**が開きます。
 ※<参考3>に記載



<注>マークとIG データ表示部分の上で地図を拡大すると、地図は元のままでマークとIG データだけが拡大されます。

<参考1> 全てのマークの「IG登録データ」を一括処理で表示します。

「ON/OFF」ボタンで、一括表示の切り替えができます。



<参考2> スマホやタブレットPCで、API地図上の「現在地」を表示します。

「現在地」ボタンを押すと、現在地で赤いバルーンが30秒間点滅します。



<参考3> API地図上の機能選択画面

マークを2回クリック(タップ)すると、機能選択画面(4つの区分)が開きます。

- ①詳細画面を表示する。
- ②マークを[済]に変更する。
- ③[済]に変更→詳細画面
- ④[済]に変更→対応結果登録



<参考4> 訪問(オルグ)済みの登録者マークを[済]に書き換える。

API地図上で、既存マークを手動で「済」に書き換えることができます。書き換えた登録者のIGデータ表示には[済]マークと書き換えた日付が入ります。

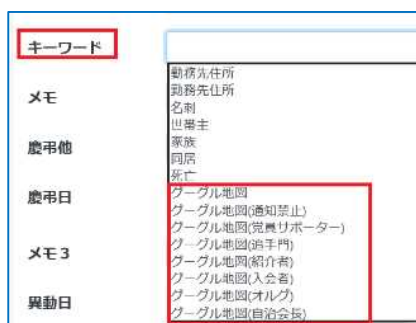


5. ユーザ専用Googleマップの「API 地図落とし」をやってみる。

パソコンで秘書ユーザで入って下さい。動員ユーザでは地図落としはできません。

1) クラウドデモの API 地図に表示する登録者の抽出は、キーワードとグループを使って下さい。

デモデータの場合は、「ID=1:黒潮一郎」には概ね全項目にデータが収用されています。



2) 「API 地図落とし」に入ります。



3) マーク(マークの種類・色・IG データ表示)を設定して登録します。

既に座標取得が行われていますので、マークの塗り直しが行われます。

マーク(13種類の記号・6種類の色)・IGデータ表示((名前や住所、ID番号、整理番号など9種類)から選択します。必要に応じて、文字列(例 自治会長/2020 サポーター/ランク A/R4 選対名簿など)を挿入することができます。

The 'マーク登録' (Mark Registration) form is shown with three sections highlighted: 'マーク' (Mark) with various symbols, '色' (Color) with color swatches, and 'IGデータ表示' (IG Data Display) with selection options and text input fields. A '登録' (Register) button is at the bottom.

4) 「API地図表示」をクリックして、地図落としの結果を確認します。



5) 様々な塗り方を試して見て下さい。

